

新型コロナウイルス感染症対策

*子育て世帯生活支援特別給付金

一人親世帯以外の低所得の子育て世帯に対する給付金が支給されます。
(一人親世帯は給付済み)

給付対象者

- ① 令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者のうち、住民税均等割の非課税の方
- ② ①のほか、対象児童を養育している方で、住民税均等割の非課税、または新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税均等割の非課税者と同様と認められる方。
(詳しくは、「だん暖たてやま」8月号又は市ホームページで)

事業費 2,760万円(児童一人当たり一律5万円)
システム改修費、事務費等 226万2千円

*生活困窮者自立支援金支給事業

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特別貸し付けが利用できない方。

支給額(月額)

申請月から3ヶ月間支給されます。

単身世帯：6万円

2人世帯：8万円

3人以上世帯：10万円

事業費：834万円(社会福祉協議会の実績から予測)

事務費：62万9千円



(支給対象条件等の詳しい内容は、館山市社会福祉課 ☎0470-22-3492へお問い合わせください。)

食のまちづくり拠点施設整備事業、ジビエ加工処理施設について

食のまちづくり拠点施設整備事業の優先交渉権者は丸高石油株式会社を中心とする丸高グループに決定しました。ジビエ加工処理施設は合同会社アルコが指定管理者として運営します。

館山市産の食材を、市内外の多くの方たちに楽しんでいただくための新しい取り組みが始まっています。これらには前澤友作館山応援基金が使われます。



食のまちづくり拠点施設外観パース(館山市HPより)

おわりに



八街市で、下校途中の小学生が交通事故に巻き込まれて死傷する事故が起きました。館山市内でも、登下校時の子どもたちが交通事故の被害に遭うことが過去に何度も起きています。歩道やガードレールのない通学路が多くあります。

道幅が狭くても、登下校時の速度制限や進入禁止措置など実施可能な対策はあります。子ど

もたちの安全対策は積極的に進められなければなりません。

また、館山中学校開校に伴い、登下校時は多くの自転車や歩行者が学校前の狭い道に集中するようになりました。市の職員や学校関係者が通学路に立ち、子どもたちの安全を見守っています。ドライバーも優しい気持ちと余裕をもって、安全運転を心がけたいと思います。